

次世代に向けた環境教育サントリー「水育」^{みずいく} ニュージーランドでも活動開始

サントリーホールディングス（株）は、子どもたちに「水」の大切さを伝える独自の次世代環境教育プログラム、サントリー「水育」^{みずいく}を5月23日（火）から新たにニュージーランドで開始します。

グループ全体で共有する「水理念」のもと、自然環境の保全・再生活動など、水に関わるさまざまな取り組みをグローバルに推進しています。

「水育」は2004年から国内で、2015年には海外で初となるベトナムでも開始しました。以降、タイ、インドネシア、フランス、中国、スペインにも拡大しており、参加した児童や教員、地元行政からも大変高い評価をいただいています。

ベトナムでは、2022年12月にサントリー ペプシコ・ベトナム・ビバレッジ社が教育訓練省と包括的な協力協定を締結し、3カ年の計画を立てて「水育」プログラムを全国的に展開していきます。また、インドネシアでは、サントリーガルダグループが環境林業省および教育文化研究技術省と協力して、より多くの教員が活用できる「水育ティーチャーズ・ガイド」を作成しました。また、イギリスでも2023年5月末から「水育」プログラムを展開します。

今回、ニュージーランドで「水育」を開始し、子どもたちに水の大切さを伝えていきます。未来に水を引き継ぐために、今後も、各地域の状況に合わせたプログラムによりグローバルな次世代環境教育を実施します。

●ニュージーランドでの「水育」について

フルコア・サントリー社が、地元の河川を環境を保全するNPOの協力のもと、小学生を対象に学校での「出張授業」を展開します。年内に約3,000人に参加いただく計画です。水循環などの水に関する基礎知識、海洋汚染を防ぐために上流河川をきれいにする取り組みなど、水の大切さや水源保全の重要性について学習する内容で、子どもたちに自然の仕組みや水の大切さを伝えていきます。

●サントリーホールディングス（株）常務執行役員

サステナビリティ経営推進本部長 藤原 正明 コメント

世界的にも独自性の高い当社の「水育」が、異なる文化を持つ国々に大きな共感を持って受け入れられ、グローバルに展開が加速していることを嬉しく思います。今回ニュージーランドで開始するプログラムは、2004年に国内で開始した次世代環境教育「水育」のうち、小学校の先生方や児童に好評な「出張授業」の形式を展開し、子どもたちが河川と海洋のつながりや水の大切さを学びます。受講した子どもたちによって、家族や地域社会にもこの貴重な共有資源の重要性が広まることを期待しています。

▼サントリーグループのサステナビリティ

<https://www.suntory.co.jp/company/csr/>

▼サントリーグループの「水資源」に関する取り組み

https://www.suntory.co.jp/company/csr/env_water/

▼サントリー「水育」

<https://suntory.jp/MIZU-IKU/>

▽本件に関するお客様からの問い合わせ先

サントリーお客様センター <https://www.suntory.co.jp/customer/>

以 上

水と生きる SUNTORY

自然と水の恵みに生かされる企業として、貴重な水資源を守ること。
さまざまな企業活動を通じて社会に潤いをもたらし、社会にとっての水であること。
社員一人ひとりが水のように自在にしなやかに挑戦できる会社であること。
「人間の生命（いのち）の輝き」をめざす想いを、「水」に託して伝えるメッセージです。